○処理施設の処理方式、構造及び施設の概要、産業廃棄物の種類

事業所の名称：　イー・ステージ株式会社

事業所の所在地：　長野県小諸市大字平原309番地1

番号	施設の種類	処理能力	処理方式	構造及び施設の概要	産業廃棄物の種類																						
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	家畜のふん尿	動物の死体	ばいじん	動物系不要固形物	処分するために処理したもの	指定下水汚泥	感染性廃棄物	廃石綿等	石綿産業廃棄物を含む
1	破砕施設	96 ㌧/日(8h)	3軸スクリュー式 対向式破砕機	【施設の概要】 廃プラスチック類等の破砕施設。低速回転駆動の為、騒音及び振動が小さく、破砕物の飛散も少ない。 【環境保全対策】 •破砕機を建屋で囲い、騒音防止。 •施設内を擁壁で囲い、ネットフェンスにより飛散防止。						○	○	○	○		○	○	○		○										
2	セメント混練施設	0.72 ㌧/日(8h)	ドラム式ミキサー	【施設の概要】 燃え殻とセメントを均一に混ぜ合わせる施設 【環境保全対策】 •屋内での処理による飛散防止。	○	○				○					○		○	○	○			○						○
3	圧縮施設	24 ㌧/日(8h)	油圧プレス機	【施設の概要】 廃棄物を約1㎥に圧縮梱包する施設。 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処理による飛散防止。						○	○	○	○		○	○												
4	金属の圧縮施設	6 ㌧/日(8h)	小型油圧プレス機	【施設の概要】 金属を圧縮する機器。 【環境保全対策】 •屋内での処理による飛散防止。												○												
5	溶融固化施設	0.72 ㌧/日(8h)	破砕電熱式 低温処理のため、臭気、ガスの発生が微量、脱臭機能付	【施設の概要】 •発泡スチロールを溶かし、プラスチック原料に固める施設。 【環境保全対策】 •屋内での作業による飛散防止。 •活性炭による臭気防止。						○																		
6	選別施設	1.000 ㌧/日(8h)	磁気選別、風力選別、ふるい選別、アルミ選別、トロンメル選別	【施設の概要】 •混合廃棄物を選別する施設。 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処理による飛散防止。 •サイクロンによる集じん。						○		○			○	○	○		○									
7	セメント混練施設	158.4 ㌧/日(8h)	2軸式混練機(3㎥) セメントサイロ　300㌧	【施設の概要】 •廃棄物とセメント等を均一に混ぜ合わせる施設。 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処理による飛散防止。 •散水による飛散防止。	○	○				○					○		○	○	○			○						○
8	コンクリート 固化施設	80 ㌧/日(8h)	ドラム式ミキサー	【施設の概要】 •埋立基準値を超えた重金属類の不溶出化を図る施設。 【環境保全対策】 •屋内での処理による飛散防止。	◎	◎												◎				◎		◎	◎		◎	
9	遮断型 最終処分場	面積　42.5 ㎡ 容量　100 ㎥	【擁壁】コンクリート防腐材、遮水シート 【外周仕切設備】 厚さ 15cm～20cm 【内周仕切設備】 厚さ 10cm～20cm(コンクリート強度 25N/mm2)	【施設の概要】 •有害物質が基準を超えて含まれる廃棄物を処分するための最終処分場。 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処分による飛散防止。 •コンクリート擁壁により地下水と遮断。	◎	◎												◎				◎		◎	◎		◎	
10	焼却施設	90 ㌧/日 (3.75 ㌧/h)	ロータリーキルン式 【設備】 ロードセル付クレーン 【燃焼温度】950℃以上 【使用燃料】灯油	【施設の概要】 •産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の焼却施設。 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処理による飛散及び臭気の防止。 集塵設備による粉塵及びばい煙対策。 ＜ガス冷却塔→消石灰の吹込み→バグフィルターで集塵＞			◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○		◎	◎		
11	焼却施設	20 ㌧/日 (0.83 ㌧/h)	ストーカ式 【設備】 ロードセル付クレーン 【燃焼温度】800℃以上 【使用燃料】灯油	【施設の概要】 •産業廃棄物の焼却施設。 【環境保全対策】 屋内での受入れ、処理による飛散及び臭気の防止。 集塵設備による粉塵及びばい煙対策。 ＜ガス冷却塔→消石灰の吹込み→バグフィルターで集塵＞						○	○	○	○		○				○										
12	管理型 最終処分場	面積 1,053.86 ㎡ 容量 4,685.05㎥	【擁壁】合成ゴムシート、遮水シート 【外周仕切設備】　厚さ 50cm～110cmの鉄筋コンクリート(強度 25N/mm2)	【施設の概要】 •屋根付き管理型最終処分場。 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処分による飛散及び臭気の防止。	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		◎	
13	蛍光管 の脱水施設	28.8 ㎥/日(24h)	フィルタープレス、キレート塔(水銀除去)	【施設の概要】 蛍光管ガラスの洗浄後の水処理設備。 【環境保全対策】 •洗浄後の処理水を、ろ過及びキレート塔にて処理し、施設内で循環することにより施設外への排水をしない。 •水銀の安定化処理。		○																						
14	蛍光管 の破砕施設	19.6 ㌧/日(24h)	振動コンベア、スラッジ分離機、磁選別機	【施設の概要】 •蛍光管をガラスと口金等に分離するための破砕施設。 【環境保全対策】 •バグフィルター、水銀ガス吸着塔による排ガス対策。						○																		
15	溶融固化施設	180 ㌧/日(8h)	2軸の破砕機 溶融機 【設備】 ロードセル付クレーン 受入ピット　500㎥	【施設の概要】 •固形燃料を製造する施設 【環境保全対策】 •屋内での受入れ、処理による飛散及び臭気対策。						○						○	○										
16	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 の破砕施設	120 ㌧/日(8h)	ミル式破砕機	【施設の概要】 •金属とプラスチックの破砕機。 【環境保全対策】 屋内での処理による飛散防止。						○						○											
17	がれき類 の破砕施設	256 ㌧/日(8h)	移動式兼固定式	【施設の概要】 •がれき類の破砕施設。 【環境保全対策】 散水による飛散防止。													○										
18	乾電池 の破砕施設	160 ㌧/日(8h)	衝撃破砕、磁気選別、振動スクリーン	【施設の概要】 •乾電池を破砕、選別する施設。 【環境保全対策】 •容器による保管、屋内での処理による騒音及び飛散防止。 •粉じん対策のため、バグフィルターによる集じん		○				○						○											

○産業廃棄物　　◎特別管理産業廃棄物を含む